

をめぐる 神戸っ子達

朝比奈 隆さん〈大フィル指揮者〉

『健康の秘訣、そんなものないよ、そりゃー、人間だから腹の立つこともあるよ。まあ、早く気持の整理をして、クヨクヨしないことだなワアッハッハ……』



織田 正吉さん〈放送作家〉

スマートである。いや、何をさせてもスマートである。邊才は書く、手品はやる。『描こうと思えばマンガも金になるよ』『コマルナー』

岡田 美代さん〈神戸文化ホール〉

『可愛いく描き過ぎてゐるわよ』外野席からクレームがついた。美人じゃないけど可愛い顔の部類だから、おばあちゃんになってももつたろう



中西

美代子さん〈龜乃井龜井堂本家〉

年令が無いみたいない人。電話はソプラノ、お話しはアルト、年令がつかめないのは声のせいかもしれない。





陳 舜臣さん〈作家〉

前国連総長のウ・タントを小型にしたような顔。よく一緒に飲むけど、酔っ払った陳さんを見た事がない。私はいつも反省させられる。大きな仕事の出来る人は違うなア。



西 正興さん〈ユーハイムコンフェクト専務〉

お互いに酔っ払ったときしか会っていないので、素面で対面してスケッチするのがデレクサイ。真昼の太陽が笑っていた。



島 京子さん〈作家〉

ボンボンと物を言う。そのボンボンが適確な言葉になって、人の耳に残る人。ヘアスタイルは何時も無難作だけど、正確な音程で、長崎長崎港のまーちよーとお蝶さんを唄う港の町のお島さん。



くれないのママさん

『もうさん。変な女を連れて来たりすると、あんたを軽蔑しますよ』人をジッと見ている。うっかりできない。キビシイ。

をめぐる 神戸っ子達

小林 新二さん <元町バザー社長>

ネクタイをしないネクタイ屋さん。『ネクタイ屋がネクタイしとれへんのはおかしいな』と言ってネクタイをつけてくれた。



花柳

芳恵一子さん <邦舞家>

踊っている彼女はずがにカンロクがあると思っただが、スケッチを終って、自分の絵を見たときたん転がって笑い出した。小娘のようなえいこちゃん。



榊

晴夫さん <キャンテニーマスター>

「もうさん、私の眼は大きいのと違うなア」「黒目が小さいのかもしれんなア」彼は眼を気にしているが、いつもバリッとタンデいなマスターだ。なんでもおいしいが、やはり、目玉商品はマスターの目玉のようだ。

小万のママさん
何回も何回も描き直したのがこの絵。われながら情けなくなってきたら。『先生、描き難い顔でこめんね』自分のせいのように言ってくれる、さすが取締役のカンロクですな。





秋田 博正さん〈正興産業社長〉

元海軍主計大尉。私は同じ主計科だが主計兵曹、だいぶ差がある。「いやいや……」「懐しいですなァ」海軍の話になると青春がよみがえって、公安委員長室で海軍経理学校の歌を合唱してしまった。



寺井 昭子さん〈神戸労音副委員長〉

大きな眼で見つめられる。その眼が物を言っている。思想を見抜かれているような気がする。サスガ労音の「親分、だけある」。



元永 定正さん〈画家〉

年令のないみたいなお男、「男性性は聞くもんじゃない」「そうや、そうや」とウマが合う。「男前に描いといてや」「よっしゃ、よっしゃ」の飲み仲間。



杉水 あつ子さん〈園のママ〉

黙って立っているだけで、お客が絶えない人だから不思議だなァ。俳画、俳句をやるのが趣味。正確な日本語じゃないと笑ってこない。



●三宮の楽しいショッピング・オフィス街への出勤に

末積カーポートビル

近代的な
立体駐車場
150台OK



●普通車30分＝¥100

スピーディな駐車 親切的な応待—

■冷暖房完備・TV付の

待ち合い室もあります。

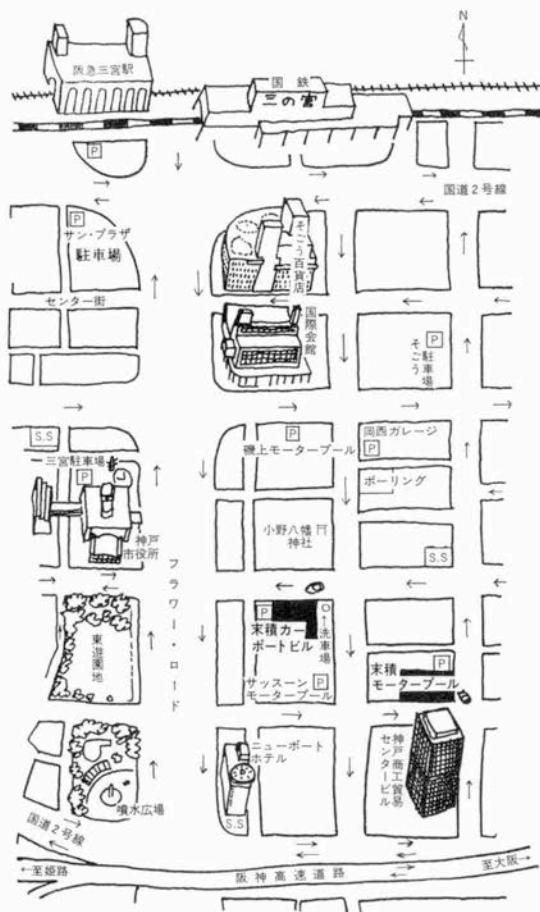
■あさ8時——よる10時(日・祭日営業)



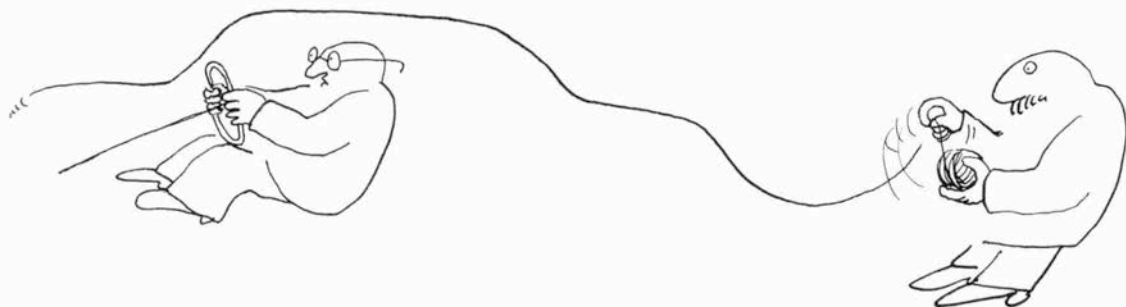
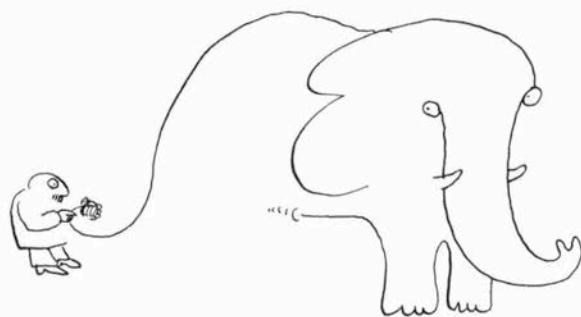
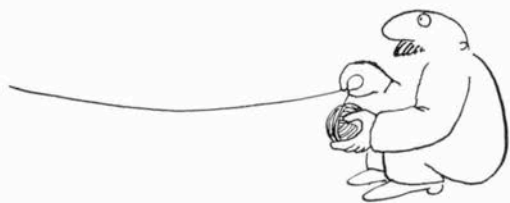
末積株式会社

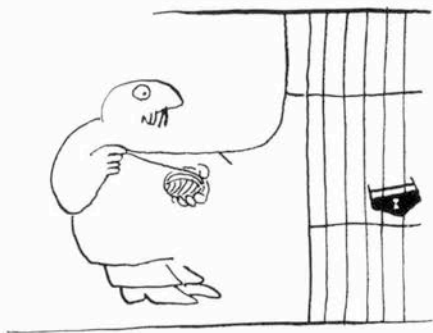
神戸市葺合区磯辺通4丁目6番地ノ2

TEL 078 (221) 9 8 8 7







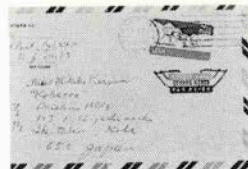


John

亡命者

竹田 洋太郎 (在ニューヨーク)

え・たかはし もう



さき到大阪外大へソ連から交換教授として来ていたレ
イチキン教授が、亡命をしたいと申し出て、奥様と別れ
てまで米国にやってきました。そのとき思ったこと。レ
イチキン教授は日本語は上手だが英語ができない。語学
の先生だから、英語は一月もたてば話せるようになる
だろうが、まずなぜ日本が教授を受け入れないか、とい
うこと。

つぎに、米国は教授の亡命を受け入れたけれど、日本
のある新聞は、ちょうどニクソン前大統領の訪ソ前だか
ら、亡命が許されるかどうかと書いていたこと。これは
こちらにいて、なんだか、いやな思いがしました。

というのは、政治的、宗教的その他の理由で、亡命す
る人、つまり祖国を捨てる人は、非常な覚悟と努力が必
要です。それを受け入れるのが民主国家であり人権を守
る国であることは、国連の人権宣言を見てもハッキリし
ています。ところが日本は亡命者を受け入れない。問題
をおこすようなガイジンはいってほしくない、というのが
日本政府の考え方でもあり、国民一般の考え方でもある
ようです。

米国はニクソン訪ソの前夜であろうとも、亡命者を受
け入れることを遠慮しません。もともと米国は亡命者が
つくった国のようなものです。だから亡命者を正しいと
思う理由があるならばいくらでも受け入れます。その米
国を日本式にカン線って「政治的配慮」を先取りして書
く日本の新聞も、間違っているとは日本の常識ではいえ

ませんが、わたしたちがよく口にする「人権」の意味が
わかっていないようです。

理屈はさておき、私たちの住んでいるニュージャージー
州は、とくに亡命者が多いところですよ。近くの住宅は
キューバからの亡命者が多く、商店街などラテンアメリ
カムードでいっぱいなんです。この亡命者は、キューバがカ
ストロによる革命以来、自分たちの財産を全部国家に供
出して、身一つで出て来た人が多く、比較的知識階級、
中産階級と白人が多く、極めて勤勉です。

少し南へ行くと、第二次大戦直後から、いわゆるハン
ガリー動乱にかけて、米国に亡命してきたハンガリー人
が、農村に居つき養鶏をはじめ、タマゴの生産では米
国トップクラスという町をつくっています。私はまだい
ったことがありませんが、州内に中国革命以後、チベッ
トからインドなどを経て亡命してきた数百人のチベット
人が村をつくり、ラマ教のお寺を建てていると聞きました。

このため、州の教育局では、大がかりな「二言語教育
プラン」をワシントンの政府の援助を得てやっています。
第一に選ばれたのは、米国の領土であるプエルトリ
コから出かせぎにやってきた人たちと、前にのべたキュー
バをはじめ政変がしょっちゅうの中南米から亡命して
きた人たち、すべてスペイン語国から来た人の教育(学
校も成人教育も含めて)のため、特別予算で先生の養成
をはかっています。

今年から始められた計画は、ニュージーダー州で急激にふえつつある中国語を話す人と日本語を話す人（中国語を話すのは香港経由の亡命者だけでなく、台湾、シンガポールやマレーシアからとさまざま。日本人は大量にニュージーダーに移住しつつあります）のための二言語学級の先生の養成です。州内では、プリンスストンに次ぐ名門のシートンホール大学の教育学部で教師の免状を持った人が、日本語や中国語の特訓を夏休み中も受けていました。

珍しいところでは、言語学にくらか興味のあった私も聞いたことのない「カルムック語」の二言語教育も計画にはいつています。この人たちは南ロシアに住んでいて、第二次大戦中、ドイツに協力したとかで戦中戦後ソ連から追われ、ここまで逃げのび、部落をつくったとい



ようこそ神戸へ！

うことです。ついでながら、同じような理由で米国にやってきたウクライナ人がウクライナ語の新聞を発行し、週一回ウクライナ語の放送をやっています。

もちろん、こうしたところでは問題も発生します。たとえばギリシヤ人の住む地区と、ギリシヤ系キプロス人の住む地区は隣り同志。キプロス事件以来、トルコに対する敵ガイ心は両方とも猛烈ですが、マカリオス前キプロス大統領を支持するかどうかとなると、同じギリシヤ語を話す同志でも対立することがあるわけです。

一般にいつて、亡命者はすべて現在の政權に反対すると同時に、激しい愛国者でもあるように見えます。その激しさは、日本人の想像もつかないほどですが、それをそのままにしておいて、本当の意味で「合衆国」をつくっているアメリカもなかなかおもしろい、というか。こうした激しい主張や意見を表現することが普通なアメリカの持っている「人権の思想」など、単一民族である日本には根着きそうにありません。

そう考えていると、ある人が「洋ちゃんには神戸におれんようになったんや」といつていたという話を聞いて、私も亡命者になったような、悲しくもまたロマンチックな物語りの主人公になった気分を味わいました。

そこでまた神戸に話を戻して、日本の政府は常に亡命者に対して冷淡でしたが、神戸という町は、中国革命の父孫文はじめ多くの革命家にとっても温い町でしたし、第一次大戦後のロシア革命では、ソ連の政權をのがれてきた白系ロシア人や東トルキスタントルコ人を多く受け入れ、その人たちが神戸の性格（味覚やファッション、建築など）を形づくるのに大きな力がありました。ことにナチスドイツが中東欧のユダヤ人を放逐、殺害しようとした時、ナチス一辺倒に見えた日本陸軍の一部軍人が、ユダヤ人の避難亡命に力を貸し、神戸がその中継地であったことを覚えている神戸っ子もあるはずですよ。こうした人々に対してやすらぎを与えるのが神戸の町であつてほしい、というのがニセ亡命者である私の願いです。



淀長立見席

33

シナリオ・ライター かいわい

淀川 長治 〈映画評論家〉

「男の子が女の子に逢った」「男の子が女の子を失った」「男の子が女の子を掴んだ」この三つさえ心得ておけば映画などというシロモノの脚本は一夜で書ける。

ブロードウェイのある劇作家が映画を馬鹿にして、この三つの最初の一つを題名にした芝居を書いて上演して大当たりした。ところがハリウッドがこれを映画化してまた当てた。

「カサブランカ」はエプスタイン兄弟とハワード・コッチが協力脚色したのだが、このジュリアス・J・エプ



「カサブランカ」はエプスタイン兄弟とハワード・コッチの共同脚色。

スタインとフィリップ・G・エプスタインは双生児で二人はよく協力した。キャブラ監督の「毒薬と老嬢」もこの二人の脚色だった。

映画の脚色は外国ではたいがい二人か三人がかりである。イタリアなどは四人五人というものもある。

そんなことをすると一つにまとまりにくいというのは素人考えて、目に訴える映画ともなると会話と行動が重要だ。一人では一人きめしすぎてしまう。

いささか話が古くなるがかつての名作「歴史は夜作られる」や「暗黒街の弾痕」などの脚色に当ったジーン・タウンとグラハム・ペーカー二人組の仕事ぶりは面白い。

二人は口でしゃべりながらタイプを打ってゆくのだが二人のうちの一人が女になり一人が男になる。男のせりふで一人がしゃべると相手は女になって受ける。その二人の会話がびったり調子を出すとそのせりふをタイプする。このタイプの紙片がやがて壁いっぱい貼られてゆく。もちろんこの二人は男である。

「隠し砦の三悪人」は菊島と小国と橋本に加わって監督の黒沢もこの脚色執筆に参加した。主役人物が砦から命がけて脱出するところになると黒沢は紙に地図を書きこの地点へ逃れるには……とその脱出方法を一人一人にひそかに考えさせ、そのうちのベストを脚色に使ったそう



脚本家が監督したり、その逆だったり。「デリンジャー」(上)、「アメリカングラフィティ」(下)

あるとき、パラマウントのシナリオ・ライターと逢った。私が映画脚色の苦心を聞くと、初めてパラマウントでオリジナル・シナリオ(映画書きおろし脚本)を書かされたとき、その彼の脚本が映画化されそれを見て彼はひっくり返った。彼の脚本どおりに映画になっていたところは十分間の火災シーンだけだった。むかしは新人が脚本を書くプロデューサーが手を入れる、それにまた監督が手を入れるので原型はあとかたもなくなることがあった。

井手俊郎さんが、私に得意になって話したラヴ・シーン。そこはね、おでん屋なの。そして恋愛中の二人がそこで語り合うの。そのあまい囁きの中で青年が「がんどききくれ」、女が「あたし、おとうふ」。これいいでしょう。彼はとくいだった。ところが映画が出来上ったときそのシーンは平凡な喫茶店になっていて、男は「コーヒー」、女は「あたし、レモン・ティー」。井手君すっかりしよけていた。

このごろアメリカ映画ではほとんど脚色者あがりの新人監督が生れてきた。ギャング映画「デリンジャー」の監督のジョン・ミリアスも「大いなる勇者」「ロイ・ビー

ン」「ダーティーハリー2」の脚色のあとこんどの「デリンジャー」で一本立ちの監督となった。またかつてのジョン・フォードとダッドリー・ニコルズのように監督と脚色者のコンビも多い。ビリー・ワイルダー監督とI・A・L・ダイアモンドもそう。いうならば映画脚色というものはその映画の監督のタッチを呑みこむことだ。

映画がカラー時代に進出したとき脚色者はカメラ・マンと協力した。悲しい場面はブルーかグレイ、陽気なシーンはオレンジ。かつて脚色者はこのように色彩にまで気を使わされたものだった。

ところでこのごろは「ザルドス」や「アメリカン・グラフィティ」のように監督が脚色にも手をつける。これも珍らしいことではない。チャップリンは最初からそうだった。

しかし「ゴッドファーザー」のフランシス・フォード・コッポラのように、「華麗なるギャツツビー」では脚色者であり「アメリカン・グラフィティ」ではプロデューサーという人も珍らしい。「ギャツツビー」はジャック・クレイトン「アメリカン・グラフィティ」はジョージ・ルーカスがそれぞれ監督に当たっている。そしてこのごろの舞台劇の映画化には、ほとんどその劇作家が映画家脚色にも当たっている。「探偵」(コルース)「フォロミー」、このアンソニーとビーター・シェファード兄弟もそう。もはや映画は舞台劇と同格であり脚色者で最も必要なことは映画の感覚と併せて映画の語りを最も今日的センスでつかむことである。

女体百景

《27》

H・ジュニア

え・浅野 俊一

飾り窓の女

H・ジュニア氏は七月二〇日、ヨーロッパ女体探訪の旅にK・L・M・オランダ航空のジャンボ機で、羽田を出発した。定めしオランダ美人のスチュワーデスの接待でご機嫌と思つたのは浅はか、中年ぶとりの芋ねえちゃんばかり、さながら白豚を見ているようだ。中には、哺乳ビン片手に赤ん坊連れのママさんスチュワーデスまでいる始末。

おまけに一刻も早く、ギリシャ美人にお目にかかりたいと、わざわざ南廻りで、マニラ、パンコック、ドバイに立寄り、いよいよアテネ空港に着陸する時刻を楽しみに待ったが、一瞬機内は緊張して、機長のアナウンスが始まった。

「戦争のため、アテネ空港は閉鎖されました。この機は一路最終目的地アムステルダムへ直行します。サンキュー！」

人を小馬鹿にするにも程がある。しかしいくら怒ってみてもどうにもならない。

アムステルダムに着いた午後、すぐガイドに国立美術館へ連れて行かれ、レンブラントの絵を見せられる。

何んと驚いたことに、暗いバックから浮き出ている女

性達、どれもこれも、あの機中でいやというほど見せられた白豚の芋ねえちゃんの顔ではないか？

アムスの夏の夜は、九時になつてもまだ明るい。飛行機であまり寝ていないので、確かに疲れているのだが、こんな明るさでは寝られたものではない。

いっそ飾り窓へでも直行するか。

ホテルのバスルームで身を清め、タクシーに案内された運河の一角のボルノ地帯の、路地裏のボルノショップの明るいショールインドウの前を通つて、運河に面した表通りに出ると、ボルノシネマ、ライフショウ（日本の実演に当る）、ボルノサウナなどのネオンがまたたいてそれらの店の間に、ここかしこレースにふちどられた飾り窓が点在して、飾り窓の女が、思い思いのご正装で、窓の薄明りの中に、大方脚組みして椅子に鎮座ましましている。

その服装は王朝風もあれば、モダンなブーツをはいたヒッピースタイルもある。皆、相当厚化粧をしているらしいのと、薄明りで、明瞭さを欠き、いづれがややめかきつばた、少しでも自分の好みに合いそうなのを探していた日には、夜が明けてしまいうさだ。色の浅黒い東洋人風のものもある。インドネシアがオランダの植民地だった頃の名残りであろう。ここまで来て、東洋人を相手に選ぶ手はない。

概してオランダ人という奴は、ダッチカウント（割り勘）という言葉があるくらい、けちで、とくに、第二次大戦中、植民地のインドネシアを手離すきっかけを作った日本人に対して、あまりいい国民感情をいだいていないことは、男女、どのオランダ人の表情を見ても読みとれる。

H・ジュニア氏は、まぎれもない日本男子として、勝つてくるぞと勇ましく、なるべく、色の白そうな、しかも、若くてあまり大柄でないスマートそうな女のいる館を選んで、中へ飛び込んだ。

女のベッドルームには、ブルドッグが一匹、ベッドの

下でH・ジュニア氏をにらんでいる。

女は愛想笑いして、早口で何かたて続けにしゃべり出した。意味がよく分らぬままだと、女はすばやく全裸になった。

見ると、肉付きのいい体を白い脂肪がおおい、その底の方から赤味が浮き上ってきて、金色のうぶ毛が全身に生えているところなど、昔、少年時代に見学した豚小屋の豚そっくりだ！ おまけに、そばかすというのか、薄茶色の斑点まで首から背中へと飛び散っていて、正に、豚そのものであり、機中のスチュワーデスやレンブラントのえがいた婦人の裸像の皮膚の質感と、全く合致している。全くのところ、金髪の豚だ！

もちろん、まっすぐに伸び切った長い足や背筋を見ると、東洋人にならない色気を感じない訳ではない。おまけに皮膚のすけるような感覚は、確かにそそるものがある。髪がブロンドで、あそここの毛が黒に近いというのも変化があつてよろしい。

彼女は素早くベッドに仰向けに横たわり、自分の上にまたがれと言っているらしい。

H・ジュニア氏は、言われるままに、白豚女の胸に乗



った。

大きな乳房の谷間は、ちょうどH・ジュニア氏の股間の一物をはさみ、大砲のつつ先は、充血して豚女の口元に達せんばかりとなった。

女は両手をH・ジュニア氏の腰にあてがい、氏の体を前後にゆすり始めた。

ここで負けてはなるものかと、H・ジュニア氏は我慢に我慢をした。

しかし、大砲のつつ先は伸びて、遂に、豚女の突き出した唇にとらえられてしまった。後は時間の問題である。体はゆれ、砲のつつ先は彼女の唇にはさまれたまましごきにしがかれた。

その時、ブルドッグが一声、ウーオと吠えた。

えーい、万事休す。日本男子の、玉でもミルクでも喰え！ とばかり、H・ジュニア氏は遂に発砲した。

その時、豚女も一声、ブーと吠えた。

飛び散るしぶき！ 彼女は目を細めて、口元、のど、胸元に散った白い液体を豊満なピンクの皮膚にねっとりとなめ込めた。

ぴっと・いん



★トリオバンドで唱える
ご気嫌な「パース」

三宮駅から北へ歩いてわず
か一〇分、中山手の日石
ガソリンスタンドの東にト
リオバンドで唄える大変楽
しいスナック「パース」が
お目見得。



今宵もにぎわうスナック「パース」

マスターの小林さんが大
変な音楽好きで、自らドラ
ムもたたけば歌も唄う。友
達と飲んだり食べたり歌つ
たりするにはピッタリのお
店。ステーキ他、欧風料理
もあるのでスタミナにも十
分。ムード派にはこじんま
りとしたスペシャルルーム
もあります。駐車場も完備
しているので便利。
毎夕PM6/A.M.2。年中無休。

★あなたも日本料理を習
てみませんか？

どい日本料理教室では、
日本料理の基礎から応用ま
での講義と実習を徹底した
個人指導システムで習得で
きる。

突出し、前菜、刺身から
祝儀料理、仏事料理、さら
には調理師法令による食品
衛生学までその内容は市広
く、プロコースも設けてい
る。

授業には、週一回、月四
回の普通科（入学金五千元
授業料など月五千元）と、

カテゴリー七、〇〇円、国産水
割五〇〇円、スコッチ六〇〇円、ビ
ール四〇〇円、ビールステーキ三、
〇〇円、ハンバーガー、〇〇円
エビフライ、二〇〇円

週一回、月八回の専門科
（入学金一万円、授業料な
ど月二万円）と二コースあ
る。

教授陣は、どい日本料理
教室の土肥秀穂さんはじ
め、神戸内外一流店の主人、
主任がズラリ。味覚の秋。
あなたも本格的な日本料理
を習ってみては？

どい日本料理教室 生田区北長狭通
二丁目八の二 トロード筋 秀栄
ビル4階 ☎三三二一〇八七八

★「鈴」が移転しました
これまで三宮にあった、
クラブ「鈴」が、このほど



ママと御常連

移転しました。場所は中山
手のダイワナイトプラザ二
階。美人のママにふさわし
いステキな場所のステキな
店に生まれ変わりました。

☎三三二一〇〇〇

●神戸うまいもん とドリンキング

ドリンク&スナック
ドン・ファン

神戸市灘区山田町三丁目1の15
（阪急六甲山側）姫路信用金庫
地階 ☎八二一六四二六

恵一子の店として親し
まれている「ドン・ファ
ン」は、この八月、開店
一周年を迎えました。

お酒と六甲のもつ閑静
な雰囲気をつつたりと楽
しもうとする人たちの出



いつも楽しいドン・ファン

会うところが「ドン・フ
アン」。

毎週月曜日には、向田
俊博さんによるフラメン
コギターの演奏をやつて
います。

ティールランチタイム 正午
午後五時 ドリンクタイム 午
後五時三十分～午前一時 水割
（ベル）六〇〇円、スコッチ
六五〇円から、V・S・O・P
一、五〇〇円

ともかくもあれ 人生 そはよきかな
あなたの顔があります。
虫メガネで見て下さい。お染じ
み「サヴォイ」の特大ポスター最新
版ノお店でジックリとご覧下さい。
「サヴォイ」☎331-2615

山田恵子
スペイン舞踊団
来 演

10月19日(土) ●7:45P.M.
●9:30P.M.



エル・ヴィノにて

ご予約はお早い目にお知らせ下さい



フラメンコの店

エル・ヴィノ

5:00PM-2:00AM(日曜祭日12:00AMまで) 水曜日定休
第1・3土曜日はフラメンコ舞踊のショータイム
神戸市生田区北野町3丁目48 アニルドマンション1階
☎ 241-1344

潜り戸を通して
“花”のおふくろさんの味を



●こん立て●
たかのり弁当
やよいの里
花そうめん
みむろそうめん
天ぷら
おつくり

和風季節料理

花

11:30A.M.~8:00P.M. 月曜日定休
さんプラザ地階 ☎ 331-0087



おいしさが
口いっぱい
ひろがる……

本場の味



ばた
なち

■三宮センター街柳筋店
TEL 321-3446・331-0572

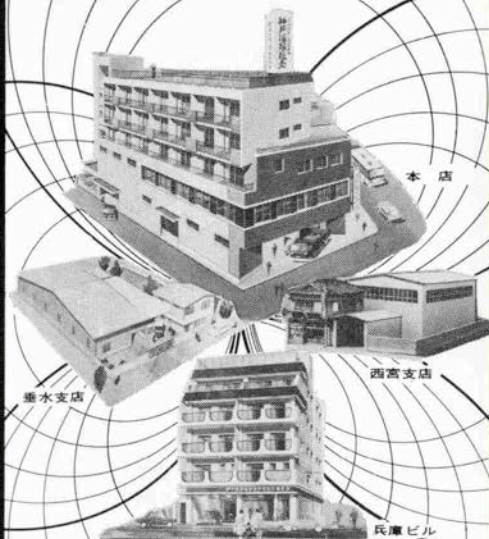
■新開地店
TEL 576-1191

■平野店（平野市場内）
TEL 361-0821

■三宮センター街サンプラザビルB,
TEL 391-3793

乾

お酒の殿堂



酒類調味食品問屋

神戸酒類販売株式会社

取締役社長 高田英之輔

本店 650 神戸市生田区中山手通1丁目76
電話神戸 (078) 321-0201 (代表)

■垂水支店、■西宮支店、■兵庫ビル